

**第 90 大腸癌研究会 家族性大腸癌委員会
議事録**

- 日時：平成 31 年 1 月 24 日（木）10:00～11:00
- 場所：京都テルサ、東館 2 階、第 1-3 セミナー室
- 出席者：（敬称略・五十音順）

〔委員長〕 富田尚裕

〔委員〕 赤木 究, 赤木由人(代 仕垣隆浩), 石川敏昭, 石川秀樹, 石田秀行, 石田文生, 石丸 啓, 上野秀樹(代 岡本耕一), 植村 守, 隈元謙介, 小泉浩一, 小林宏寿, 小森康司, 坂本一博, 菅野康吉, 関根茂樹, 田中敏明(代 佐々木和人, 畑 啓介), 田中屋宏爾, 田村和朗, 千野晶子, 間山裕二, 永坂岳司, 中島 健, 檜井孝夫, 平田敬治, 松原長秀, 三口真司, 宮倉安幸, 山口達郎, 山田岳司, 山田真善, 吉松和彦

〔事務局〕 山野智基

〔オブザーバー〕 不明

〔ご同行・その他〕 秋山泰樹, 大内 晶, 風間伸介, 神山篤史, 川崎優子, 小西文雄, 桜井俊治, 七條智聖, 鈴木興秀, 須藤 剛, 高雄美里, 高橋 玄, 近谷賢一, 塚本俊輔, 畑森裕之, 林 啓一, 前川 聡

●審議・報告事項

1. 前回議事録の確認（富田委員長）

2. 過去の共同研究に関する論文作成の状況について

① FAP 関連：Morphological analysis of carcinomas in Japanese patients with familial adenomatous polyposis 石田文生委員より、JARC（日本大腸肛門病学会の英文誌）に投稿準備中である旨、報告あり。

② Lynch 症候群関連：

担当の東大医科研、古川先生ご欠席にて詳細不明。後日、富田から確認予定。

3. 新しい臨床研究、2 件について

① 『家族性大腸腺腫症(FAP)に関する後方視的多施設共同二次研究』

FAP-WG 担当：山口達郎先生より説明（研究計画書（最終版））

2018/12/21 大腸癌研究会倫理審査委員会より承諾

今後 Windows/Mac 版の登録フォームを配布予定。参加施設で IRB 審査を。

（質問）

（1）症例重複の可能性は？→暗号化するが判別可能であり問題ない。

（2）施設への参加は？→追加参加可能（現在は一次研究施設のみ）。

- (3) 暗号化での対応表は？→各施設で保存。暗号化されて中央で管理。
- (4) 遺伝子検査法などの詳細情報は？→分る範囲で記載を。
- (5) 家族の情報は？→出来るだけ記載を。

② 『後方視的観察研究による日本人リンチ症候群の大腸病変に対する消化器内視鏡研究』

LS-WG 担当：田中屋宏爾先生より説明

- (1) データシートは2種類。患者登録用と内視鏡検査用
- (2) データ解析希望はワーキンググループで認可する。
- (3) 過去データを集積するので規約は8版を使用
(質問)

- (1) 各施設での IRB 審査料の補助が可能か？

→富田委員長より各自負担でお願いしたいと回答あり。

- (2) 国立がん研究センター山田真善委員より FAP は不参加、LS は参加との事。

4. 遺伝性大腸癌診療ガイドライン2020年(改訂版)作成について

富田委員長よりガイドライン作成委員会のメンバー、今後のスケジュールについて説明。

編集責任者：石田秀行委員より、「一般の医療者に分かり易いように最初に概要を説明したあとに2016年版に準じてFAP/Lynchの各論とする」との説明あり。

(質問) 無し

5. 関連団体からの報告

① 遺伝性腫瘍研究グループ連絡協議会

連絡協議会事務局石川秀樹委員、富田委員長から「遺伝性腫瘍の発症前での遺伝子検査、サーベイランス、治療を保険診療となる様に厚労省に要望する予定」との報告あり。

② 研究会の案内(石川秀樹委員から)

- (1) 消化管ポリポシス研究会 1月27日

「小児慢性特定疾患に、家族性腺腫性ポリポシス、若年性ポリポシス、ポイツ・ジェガース症候群、カウデン症候群が指定されており、20歳までであるが補助が受けられる」との情報提供もあり。

- (2) がんゲノム医療時代における Lynch 症候群研究会 消化器病学会開催時、5月11日

- (3) 家族性大腸腺腫症研究会 9月20日(金)、大阪国際がんセンター

6. その他

富田委員長から InSiGHT 開催の紹介(ニュージーランドのオークランドで3/20-23)

【論文】(FAP 関連)

Sada H, Hinoi T, Ueno H, Yamaguchi T, Inoue Y, Konishi T, Kobayashi H, Kanemitsu Y, Ishida F, Tomita N, Matsubara N, Sugihara K. Prevalence of and risk factors for thyroid carcinoma in patients with familial adenomatous polyposis: results of a multicenter study in Japan and a systematic review. Surgery Today 2019, 49, 72-81.